



## 令和2年度事業評価書

令和元年度 事業名	1款 1項 1目 議員報酬・共済費		所管区局・課	議会局総務課	令和2年度 事業評価書 番号	1-1-1 1
事業概要	実施根拠	法令等 ■ 法律 ■ 条例 □ 規則 その他 □	具体的 名称	地方自治法、地方公務員等共済組合法の一部を改正する法律、地方公務員等共済組合法 等		
	事業の目的 (事業開始の 経緯)	<p>・議員報酬は、地方自治法第203条に基づき市会議員に対し支給されるもので、支給額や支給方法は「横浜市市会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例」で定められている。</p> <p>・議員共済給付金の公費負担制度 開始年度(昭和47年度) 共済給付金の給付に要する費用については、制度創設当初から会員の掛金を持って充ててきたが、昭和46年の統一地方選挙により大量の受給者が発生し、共済財政が急激に悪化したため、公費負担制度が導入された。その後、地方議会議員年金制度は、地方公務員等共済組合法の一部を改正する法律の成立をもって廃止されたが、同法第23条第1項において、地方公務員等共済組合法第167条はなおその効力を有すると規定されているため、各地方公共団体が給付に要する費用を負担するものである。</p>				
	具体的な 事業内容	議員報酬及び地方議会議員共済会負担金の執行 本事業は右記に該当するため、以降の記載を一部省略します。 ■ 法令に基づく義務的経費 □ 内部事務経費のみ				
事業実績	達成指標	指標名(単位)	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
		目標				
		実績				
		目標 実績				
	上記の指標で定量的な設定が 困難な理由					
	予算額・ 執行額、 事業費の 推移		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		現計予算額	1,689,613千円	1,691,312千円	1,691,065千円	1,687,753千円
		支出済額	1,696,193千円	1,696,258千円	1,694,554千円	1,658,666千円
		繰越額	0千円	0千円	0千円	0千円
		差▲引	△ 6,580千円	△ 4,946千円	△ 3,489千円	29,087千円
執行率(%)		100%	100%	100%	98%	
人 件 費		一般職職員	0.6人	0.6人	0.6人	0.6人
		再任用職員	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
	概算人件費	5,265千円	5,275千円	5,271千円	5,271千円	
	総事業費	1,701,458千円	1,701,533千円	1,699,825千円	1,663,937千円	
	増▲減	—	75千円	▲ 1,708千円	▲ 35,888千円	
事業評価の 視点による 点検・ 検証・ 評価	本市が行う 必要性					
	事業目的に 対する 有効性					
	本事業の 効率性・ 類似性	法定事業のため、検証不可。				
	市民等外部 意見を聴取 する仕組みと 反映状況	□ 有 ■ 無 法定事業のため、実施していない。				
	自己評価や 外部意見を 踏まえた 事業見直し の方向性	法令等に基づき、引き続き適正に執行する。				

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	庶務係
	濃野 誠	平畑 泰寛	明石 亜由美

## 令和2年度事業評価書

令和元年度 事業名	1 款 1 項 1 目 政務活動費		所管区局・課	議会局秘書広報課	令和2年度 事業評価書 番号	1 - 1 - 1 2	
事業概要	実施根拠	法令等 ■ 法律 ■ 条例 □ 規則 その他 □	具体的 名称	地方自治法、横浜市会政務活動費の交付に関する条例			
	事業の目的 (事業開始の 経緯)	政務活動費(当初は政務調査費)は、地方議会議員の調査活動基盤の充実を図るため、平成12年5月の地方自治法の改正により、条例の定めるところにより会派又は議員に対して交付することができるとされた。この法の趣旨を踏まえ、「横浜市会政務調査費の交付に関する条例」を平成13年2月に制定し、各会派に対し政務調査費の交付を開始した。 平成24年度より、地方自治法の改正を受けて名称を「政務活動費」と改め、「その他の議員活動」においても充当を認めることとなった。					
	具体的な 事業内容	横浜市会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派又は議員に対し、政務活動費を交付する。 本事業は右記に該当するため、以降の記載を一部省略します。 ■ 法令に基づく義務的経費 □ 内部事務経費のみ					
事業実績	達成指標	指標名(単位)	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	
		目標					
		実績					
		目標 実績					
	上記の指標で定量的な設定が 困難な理由						
	予算額・ 執行額、 事業費の 推移	現計予算額		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		支出済額		567,600千円	567,600千円	567,600千円	567,600千円
		繰越額		564,730千円	563,049千円	564,236千円	564,615千円
		差▲引		0千円	0千円	0千円	0千円
		執行率(%)		2,870千円	4,551千円	3,364千円	2,985千円
人 件 費		一般職職員		99%	99%	99%	99%
		再任用職員		2.0人	2.0人	2.0人	2.0人
		概算人件費		0.0人	0.0人	0.0人	0.0人
総事業費		17,550千円	17,582千円	17,570千円	17,570千円		
増▲減		582,280千円	580,631千円	581,806千円	582,185千円		
		—	▲ 1,649千円	1,175千円	379千円		
事業評価 の視点に よる点検・ 検証・ 評価	本市が行う 必要性						
	事業目的に 対する 有効性						
	本事業の 効率性・ 類似性	法定事業のため、検証不可。					
	市民等外部 意見を聴取 する仕組みと 反映状況	□ 有 ■ 無 法定事業のため、実施していない。					
	自己評価や 外部意見を 踏まえた 事業見直し の方向性	法令等に基づき、引き続き適正に執行する。					

本資料は、公正・適正に作成しました。	課長	係長	秘書広報担当
	柴垣 涼	藤井 洋平	伊藤 絵理

令和2年度事業評価書

令和元年度 事業名		1 款 1 項 1 目 議会広報費		所管区局・課	議政局秘書広報課	令和2年度 事業評価書 番号	1 - 1 - 1 3
実施根拠	法令等	<input type="checkbox"/> 法律	<input type="checkbox"/> 条例	<input type="checkbox"/> 規則	具体的 名称		
	その他	<input type="checkbox"/>					
事業概要	事業の目的 (事業開始の経緯)	<p>1 ヨコハマ議会だより 市内各世帯に配布する議会広報誌として、平成3年6月の第1号の発行から116号まで発行している(令和2年6月現在)。</p> <p>2 映像等広報事業 昭和53年度からtvkテレビで定例会の概要を多くの市民に分かりやすく伝えるために番組を開始した。</p> <p>3 インターネット中継 「開かれた議会」を一層推進するため、平成17年9月14日開催の運営委員会において決定され、本会議・予決特のインターネット中継を開始した。平成25年度から、常任・特別委員会等も開始した。</p> <p>4 議会周知用ポスター 平成25年度から、市会定例会の開催を周知し傍聴やインターネット中継の利用を促進するために制作を開始した。</p> <p>5 その他の広報 「市会のおしり」、新聞掲載は昭和63年度から、横断幕掲出は平成24年度から、市民向けに市会情報を広報することを目的として開始された。</p>					
	具体的な 事業内容	<p>1 ヨコハマ議会だより 定例会毎に年4回発行し、自治会町内会等の配布団体を通じて市内各世帯に配布しているほか、区役所やPRボックス等にも配架した。</p> <p>2 映像等広報事業 市会ダイジェスト(年4回)、「正副議長対談」、「各党派年頭あいさつ」、「座談会 予算市会の焦点」を制作・放映した。</p> <p>3 インターネット中継 本会議、予決特、常任・特別委員会等を生中継・録画中継で公開している。また、各区役所において、本会議、予決特のインターネット中継をモニター放映した。</p> <p>4 議会周知用ポスター 定例会毎に年4回作成し、市内公共施設や主要鉄道駅及び市営交通等に掲出した。</p> <p>5 その他の広報 (1)「市会のおしり」は、市会のしくみ、傍聴、請願・陳情及び議員の顔写真など、包括的に議会を解説するパンフレットとして、年1回発行した。 (2)新聞掲載は、議会日程等を広報するため、年6回記事を掲載した。 (3)横断幕は、各定例会会期(年4回)を広く周知するため、会期期間中に市会棟2階バルコニーに掲出した。</p> <p>本事業は右記に該当するため、以降の記載を一部省略します。</p> <p><input type="checkbox"/> 法令に基づく義務的経費 <input type="checkbox"/> 内部事務経費のみ</p>					
事業実績	達成指標	指標名(単位)	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	
		目標					
		実績					
		目標 実績					
	上記の指標で定量的な設定が困難な理由		議会の活動状況や意向を踏まえて事業の執行がなされるため。				
	予算額・ 執行額、 事業費の 推移	現計予算額	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		支出済額	85,010千円	86,729千円	87,261千円	128,902千円	
		繰越額	77,738千円	84,817千円	82,874千円	105,759千円	
		差▲引	0千円	0千円	0千円	0千円	
		執行率(%)	7,272千円	1,912千円	4,387千円	23,143千円	
人 件 費		一般職職員	91%	98%	95%	82%	
		再任用職員	4.0人	4.0人	4.0人	4.5人	
	概算人件費	0.0人	0.0人	0.0人	0.0人		
総事業費	35,100千円	35,164千円	35,140千円	39,533千円			
増▲減	112,838千円	119,981千円	118,014千円	145,292千円			
増▲減	—	7,143千円	▲ 1,967千円	27,278千円			
事業評価の 視点による 点検・ 評価	本市が行う 必要性	議会の活動状況を、様々な媒体を通して市民に広くお知らせすることで、議会への関心と理解を深め、より身近に感じていただくことで、議会や市政への参加を促すために必要である。また、市民の議会を知る権利を保障するものとして、正確な情報を提供する必要がある。					
	事業目的に 対する 有効性	市会の活動状況を、様々な媒体を通して市民に広くお知らせすることで、市政のしくみや条例等の重要な施策に関する議論や決定までの過程等の透明性が確保されている。					
	本事業の 効率性・ 類似性	事業手法や内部事務の見直しを行い、各種事業のより効率的かつ効果的な手法を検討していく必要がある。					
	市民等外部 意見を聴取 する仕組みと 反映状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ヨコハマ議会だよりでは、読者からのご意見を募集しており、紙面づくりに反映している。 ホームページでは、議会広報に関するアンケートを実施している。					
	自己評価や 外部意見を 踏まえた 事業見直し の方向性	各種広報媒体により、議会情報を正確かつ迅速に伝えることは重要であり、引き続き実施する。 また、厳しい財政状況の中で、各種事業のより効率的かつ効果的な手法を検討していく必要がある。					
本資料は、公正・適正に作成しました。		課長	係長		秘書広報担当		
		柴垣 涼	橋本 育世、藤井 洋平		伊藤 絵理、青木 誠		

## 令和2年度事業評価書

令和元年度 事業名	1 款 1 項 1 目 議会総務費		所管区局・課	議会局総務課	令和2年度 事業評価書 番号	1 - 1 - 1 4
事業概要	実施根拠	法令等 □ 法律 □ 条例 □ 規則 その他 □	具体的 名称			
	事業の目的 (事業開始の 経緯)	議会局の運営を円滑に実施する。				
	具体的な 事業内容	会派控室等の嘱託員配置、議会局運営に必要な需用費や委託業務の実施等。 本事業は右記に該当するため、以降の記載を一部省略します。 □ 法令に基づく義務的経費 ■ 内部事務経費のみ				
事業実績	達成指標	指標名(単位)	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績
		目標 実績				
		目標 実績				
		上記の指標で定量的な設定が 困難な理由				
	予算額・ 執行額、 事業費の 推移	現計予算額	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		支出済額	83,827千円	81,082千円	86,596千円	107,979千円
		繰越額	84,852千円	76,870千円	81,976千円	102,691千円
		繰越額	0千円	0千円	0千円	0千円
		差▲引	△ 1,025千円	4,212千円	4,620千円	5,288千円
		執行率(%)	101%	95%	95%	95%
人 件 費		一般職職員	8.4人	8.4人	8.4人	7.9人
	再任用職員	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人	
	概算人件費	78,279千円	78,626千円	78,588千円	74,196千円	
総事業費	163,131千円	155,496千円	160,564千円	176,887千円		
増▲減	—	▲ 7,635千円	5,068千円	16,323千円		
事業評価の 視点による 点検・ 検証・ 評価	本市が行う 必要性					
	事業目的に 対する 有効性					
	本事業の 効率性・ 類似性	当該事業は、会計年度任用職員人件費や議会運営に不可欠な義務的経費で占められており、他事業との類似性はない。				
	市民等外部 意見を聴取 する仕組みと 反映状況	□ 有 □ 無				
	自己評価や 外部意見を 踏まえた 事業見直し の方向性	令和元年度の執行状況を踏まえ、毎月の予算執行管理を行うなかで、コスト削減や予算の有効活用を図る。				

本資料は、公正・適正に作成しました。

課長

濃野 誠

係長

山根 伸哉

庶務係

西口 由梨奈

## 令和2年度事業評価書

令和元年度 事業名	1 款 1 項 1 目 会議・委員会等運営費	所管区局・課	議会局議事課	令和2年度 事業評価書 番号	1 - 1 - 1 5		
事業概要	実施根拠	法令等 ■ 法律 ■ 条例 ■ 規則 その他 <input type="checkbox"/>	具体的 名称	地方自治法、横浜市議会基本条例、横浜市区会議規則、横浜市委員会条例 等			
	事業の目的 (事業開始の 経緯)	地方自治法等に基づく横浜市の本会議・委員会等を運営する。 議会の国際交流を推進する。					
	具体的な 事業内容	本会議、委員会等の開催・運営、市外・市内への委員会視察の実施及び各会議の記録調製並びに議員派遣による海外視察の実施 姉妹・友好都市等からの来賓に対する市会歓迎行事の実施					
	本事業は右記に該当するため、以降の記載を一部省略します。		<input type="checkbox"/> 法令に基づく義務的経費		<input type="checkbox"/> 内部事務経費のみ		
事業実績	達成指標	指標名(単位)	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	令和元年度実績	
		目標 実績					
		目標 実績					
		上記の指標で定量的な設定が 困難な理由	本会議、委員会等の議会活動の状況に応じて事業の執行がなされるため。				
	予算額・ 執行額、 事業費の 推移	現計予算額	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		支出済額	99,216千円	125,072千円	100,769千円	91,276千円	
		繰越額	82,015千円	83,624千円	62,102千円	57,006千円	
		繰越額	0千円	0千円	0千円	0千円	
		差▲引	17,201千円	41,448千円	38,667千円	34,270千円	
		執行率(%)	83%	67%	62%	62%	
		人 件 費	一般職職員	18.0人	18.0人	18.0人	18.0人
			再任用職員	1.0人	1.0人	1.0人	1.0人
			概算人件費	162,519千円	163,020千円	162,924千円	162,924千円
	総事業費	244,534千円	246,644千円	225,026千円	219,930千円		
増▲減	—	2,110千円	▲ 21,618千円	▲ 5,096千円			
事業評価 の視点 による 点検・ 検証・ 評価	本市が行う 必要性	法定事業を含め、本会議・委員会等の運営に必要な経費である。 また、議会の国際交流を推進するために必要な経費である。					
	事業目的に 対する 有効性	事業目的に対して有効である。					
	本事業の 効率性・ 類似性	新市庁舎移転に伴い、本会議・委員会の反訳方法を見直し、変更することにより、経費を削減した。 また、議会の国際交流関係事業については類似事業はなく、予算内での適切な執行を行った。					
	市民等外部 意見を聴取 する仕組みと 反映状況	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法定事業である。				
	自己評価や 外部意見を 踏まえた 事業見直し の方向性	過年度の執行状況等を参考に、不要な事務コストがないか継続して業務の見直しを行っていく。 また、新市庁舎移転を機に見直すことができる業務等がないか、検討を行っていく。					
本資料は、公正・適正に作成しました。			課長 本多 修	係長 福岡 英文	委員会担当 中田 大佳		